

平成 29 年 5 月 29 日

2017 年度 九州・山口地区の新入社員意識調査アンケート結果

～ しごと しごと 仕事より私事ファースト ～

西日本フィナンシャルホールディングス（社長 谷川 浩道、以下「西日本 FH」）の子会社である NCB リサーチ&コンサルティング（社長 光富 彰）は、毎年新入社員を対象とする公開セミナー及び企業内研修を実施しています。本年度のセミナー及び研修に参加いただいた、九州・山口地区の新入社員を対象とした意識調査アンケートの結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

【 アンケート結果概要 】

今回のアンケート結果から、本年度入社の新入社員は真面目で我慢強く協調関係を保つことには自信を持っていますが、自ら計画し積極的に行動することは苦手であることが分かります。苦手意識を反映し、上司に対してはきめ細かな指導や気配りを望んでおり、「指示待ち」の傾向もでていようです。給料と残業に対する考え方では「給料は少なくとも、残業がない方がよい」と答えた人が 5 年連続で増加しており、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を重視する傾向がますます強まっています。また、会社に求めるものとして「十分な休日や余暇の時間」が増加するなど、仕事より私事ファーストといった傾向が感じられます。

1. 就職活動は「とても大変だった」が 18.6%、「大変だった」が 54.9%、「思っていたほど大変ではなかった」が 23.6%、「その他」が 2.9%という結果でした。
2. 就職先を決める時に重視したことは、「会社の雰囲気・イメージ」が 42.8%で最も多く、次いで「業種・事業内容」の 42.1%、「仕事にやりがいがある」の 41.0%という結果でした。
3. 働く目的は、「生活の安定」が 70.9%で最も多く、次いで「自己成長」の 55.2%、「お金が稼げる」の 47.3%という結果でした。

詳細は添付の資料をご参照下さい。

【お問い合わせ先】

NCB リサーチ&コンサルティング 調査部 担当：原
〒812-0027 福岡市博多区下川端町 2 番 1 号 博多座・西銀ビル 13 階
電話：092-282-2662

調査概要

1. 調査の目的

- 職業等に関する新入社員の意識状況を調査し、傾向を把握すること

2. 調査期間

- 平成 29 年 3 月 24 日～4 月 20 日

3. 調査対象

- 平成 29 年春の新入社員で、当社の新入社員公開セミナー及び企業内研修の参加者

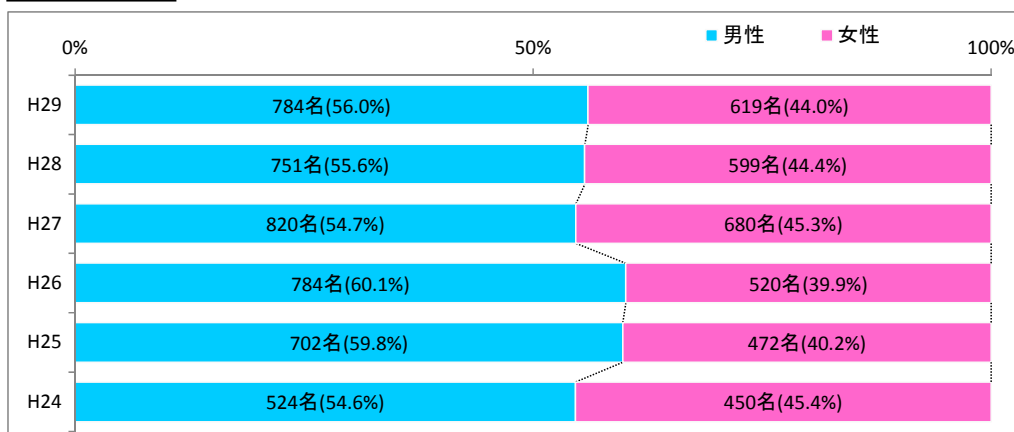
対象：1,440 名（299 社） 回収：1,403 名 回収率：97.4%

開催地

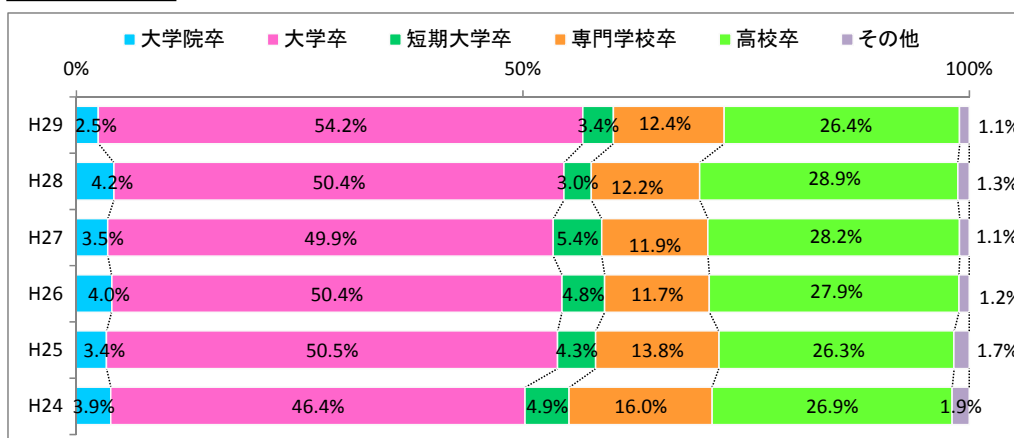
公開セミナー（24 コース）：福岡市、北九州市、久留米市、飯塚市、長崎市、熊本市、宮崎市、大分市

企業内研修（10 コース）：福岡市、朝倉市、福岡県筑前町、鹿島市、別府市、下関市

性別



最終学歴



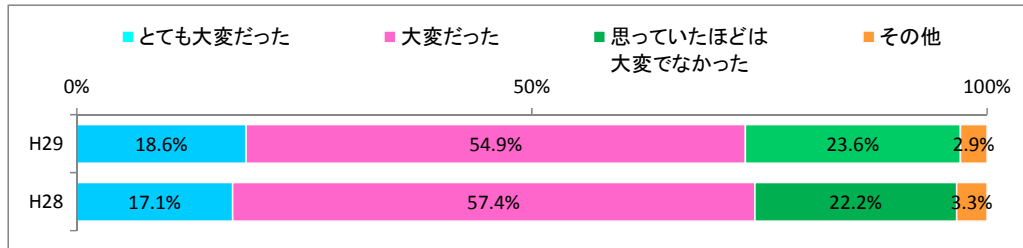
4. 調査方法

- アンケート用紙の配布・回収（新入社員公開セミナー・企業内研修実施時）

【アンケート結果】

1. 就職活動はどうでしたか（1つ選択）

全体では「とても大変だった」が18.6%、「大変だった」が54.9%、「思っていたほど大変ではなかった」が23.6%、「その他」が2.9%という結果であった。

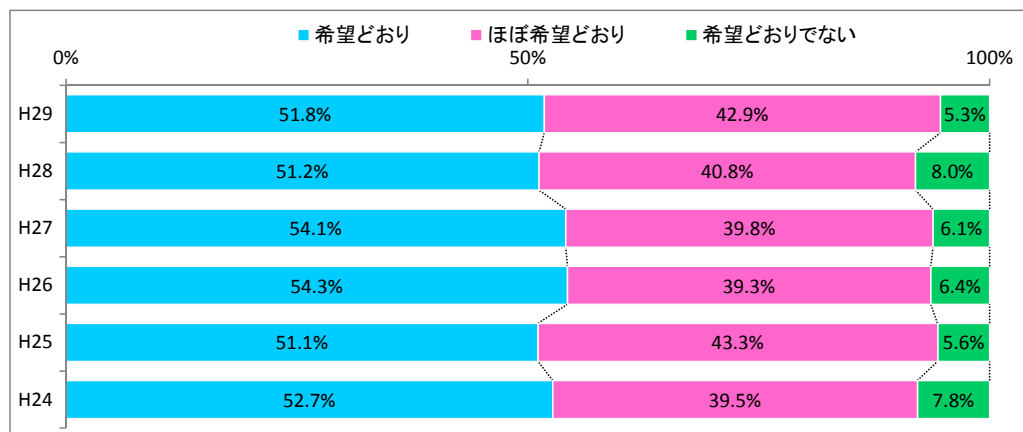


【コメント】

売り手市場と言われているが、「とても大変だった」、「大変だった」の合計が70%を超えており、就職活動のスケジュール変更の影響もあり、実感としては厳しかったと感じている。

2. 希望している会社に就職できましたか（1つ選択）

全体では「希望どおり」が51.8%、「ほぼ希望どおり」が42.9%で、あわせて94.7%という結果であった。昨年との比較では、「希望どおり」は0.6ポイント増加、「ほぼ希望どおり」は2.1ポイント増加、「希望どおりでない」は2.7ポイント減少した。

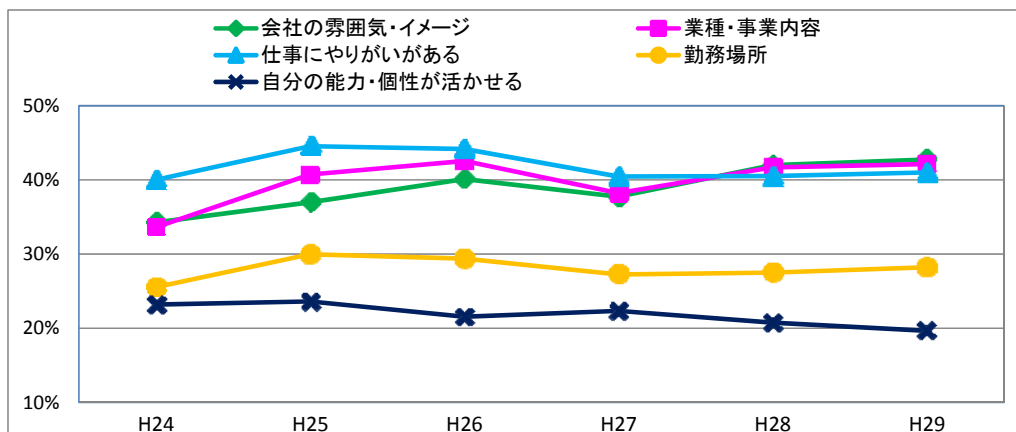


【コメント】

「希望どおり」と「ほぼ希望どおり」の合計が94.7%と調査開始以来最高となっており、就職活動自体は大変と感じたものの、売り手市場でもあり就職先には満足している様子がうかがわれる。

3. 就職先を決める時、重視したものは何ですか（3つまで選択）

全体では「会社の雰囲気・イメージ」が42.8%で最も多く、次いで「業種・事業内容」の42.1%、「仕事にやりがいがある」の41.0%という結果であった。昨年との比較では、「会社の雰囲気・イメージ」は0.8ポイント増加、「業種・事業内容」は0.4ポイント増加している。

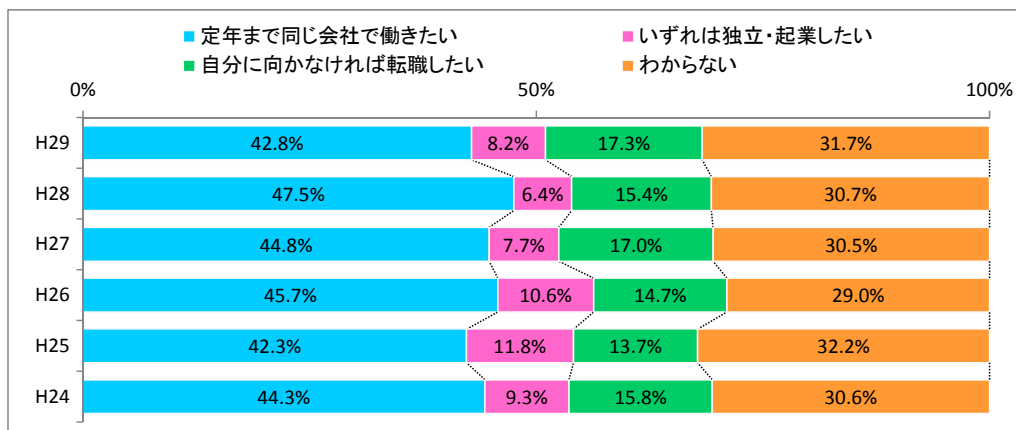


【コメント】

2年連続で、「会社の雰囲気・イメージ」が「仕事にやりがいがある」および「業種・事業内容」を上回っており、表面的な印象で就職先を決める傾向が強まっていることがうかがわれる。

4. 就職した会社で定年まで働きたいと思いますか（1つ選択）

全体では「定年まで同じ会社で働きたい」が42.8%で最も多く、次いで「わからない」の31.7%、「自分に向かなければ転職したい」の17.3%、「いずれは独立・起業したい」の8.2%という結果であった。昨年との比較では、「定年まで同じ会社で働きたい」が4.7ポイント減少、「わからない」が1.0ポイント増加、「自分に向かなければ転職したい」が1.9ポイント増加、「いずれは独立・起業したい」が1.8ポイント増加した。

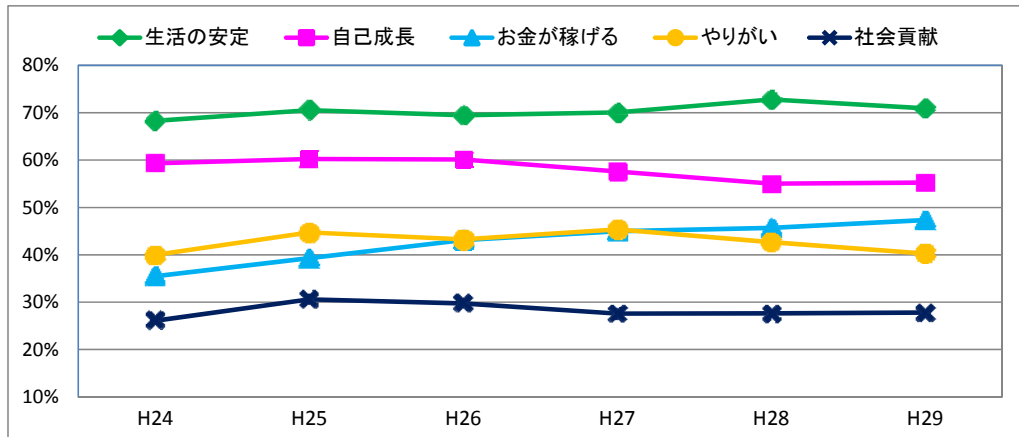


【コメント】

就職環境が好転した影響か、「定年まで同じ会社で働きたい」が前年比で大きく減少する一方、「自分に向かなければ転職したい」が過去最高となった。

5. あなたにとって働く目的は何ですか（3つまで選択）

全体では「生活の安定」が70.9%で最も多く、次いで「自己成長」の55.2%、「お金が稼げる」の47.3%という結果であった。昨年との比較では、「生活の安定」が1.9ポイント減少し、「お金が稼げる」が1.6ポイント増加している。

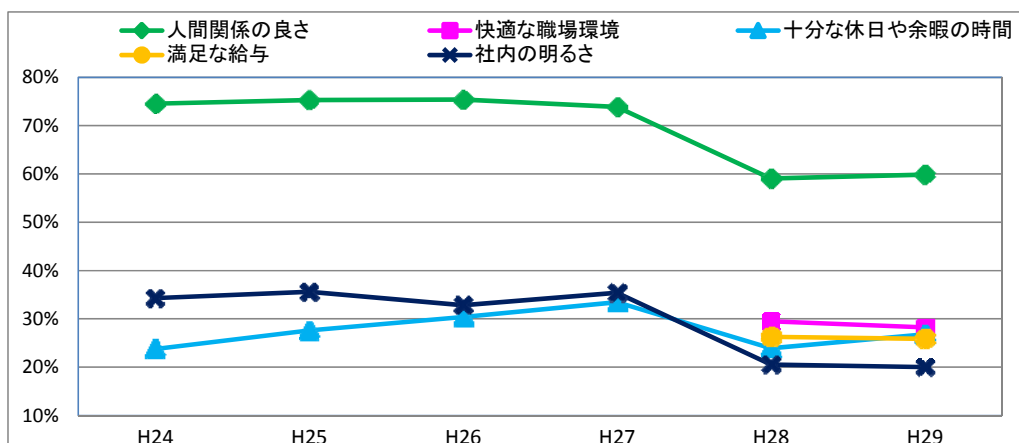


【コメント】

「自己成長」や「やりがい」が減少傾向にある一方、「お金が稼げる」が毎年増加しており、現実を重視する面がうかがわれる。

6. あなたが会社に求めるものは何ですか（2つまで選択）

全体では「人間関係の良さ」が59.9%で最も多く、次いで「快適な職場環境」の28.2%、「十分な休日や余暇の時間」の26.8%、「満足な給与」の25.9%という結果であった。

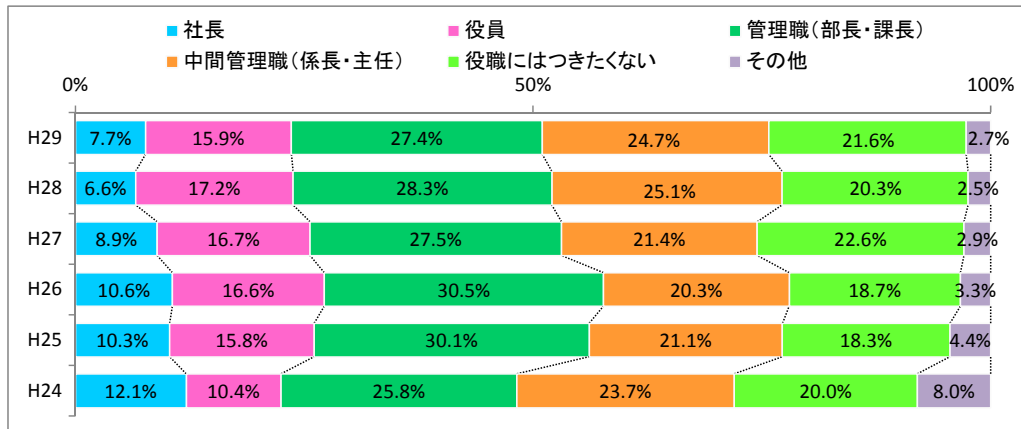


【コメント】

昨年と比較すると「十分な休日や余暇の時間」が2.9ポイント増加しており、自分の時間を大切にしたいとの思いがうかがわれる。

7. 将来、どのポジションに就きたいですか（1つ選択）

全体では「管理職（部長・課長）」が 27.4%で最も多く、次いで「中間管理職（係長・主任）」の 24.7%、「役職にはつきたくない」の 21.6%という結果であった。昨年との比較では、「社長」は増加したものの、「役員」、「管理職」は減少した。

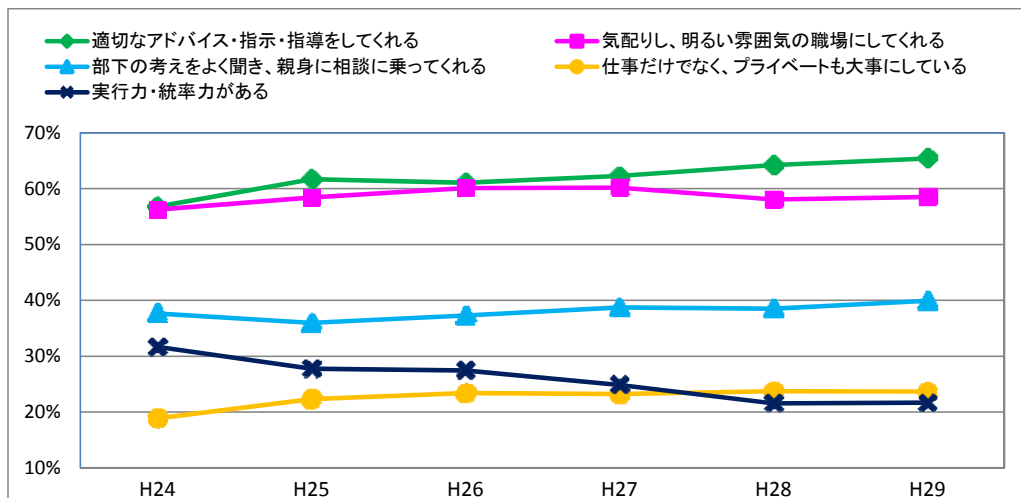


【コメント】

将来のポジションとして管理職以上を希望する割合は、全体では 51.0%と、3年連続で減少している。「役職にはつきたくない」との回答も昨年より増加しており、出世にはそれほどこだわりを持たない傾向が続いている。

8. あなたにとって理想の上司に近いものはどれですか（3つまで選択）

全体では「適切なアドバイス・指示・指導をしてくれる」が 65.4%で最も多く、次いで「気配りし、明るい雰囲気職場にしてくれる」の 58.5%、「部下の考えをよく聞き、親身に相談に乗ってくれる」の 39.9%という結果であった。昨年との比較では、「適切なアドバイス・指示・指導をしてくれる」の 1.2ポイントの増加、「部下の考えをよく聞き、親身に相談に乗ってくれる」の 1.4ポイントの増加が目立っている。

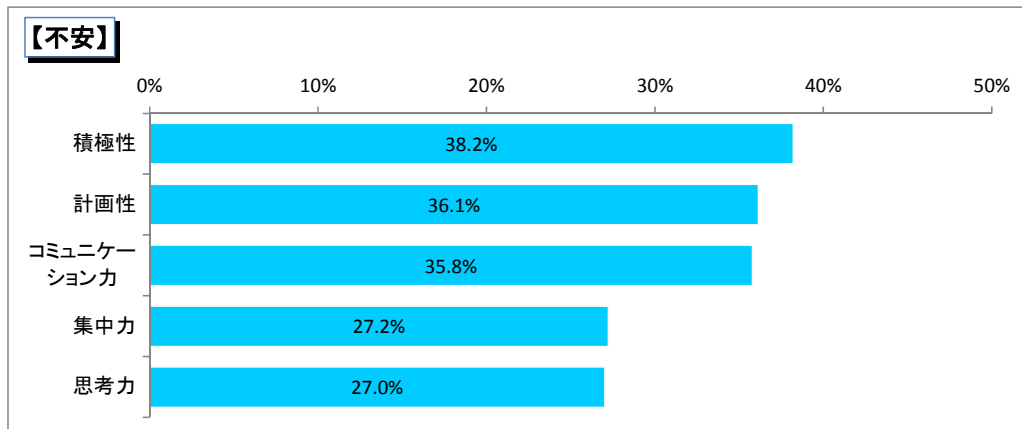
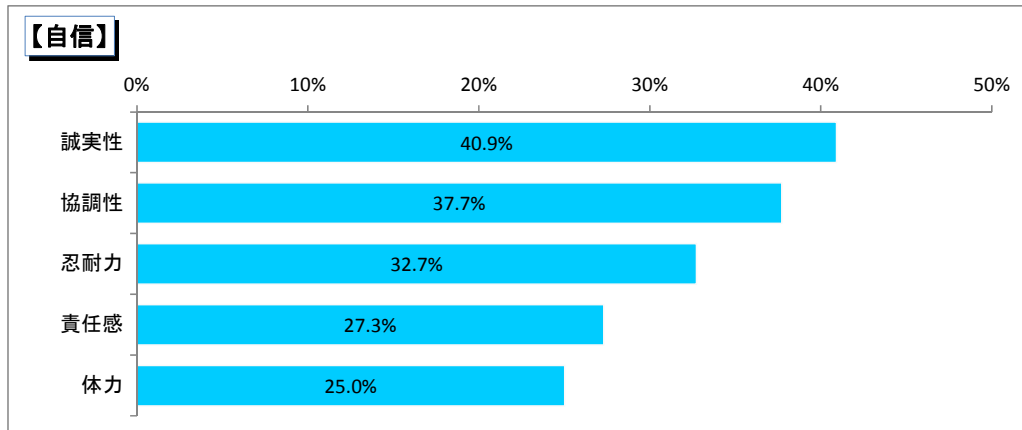


【コメント】

知識やスキル、コミュニケーション能力不足を自覚しており、きめ細かな指導、気配りのできる上司を求める傾向が続いている。

9. 今、あなたにとって自信があること、また不安なことは何ですか（それぞれ3つまで選択）

全体では、自信があることは「誠実性」が40.9%で最も多く、次いで「協調性」の37.7%、「忍耐力」の32.7%という結果であった。不安なことは「積極性」が38.2%で最も多く、次いで「計画性」の36.1%、「コミュニケーション力」の35.8%という結果であった。

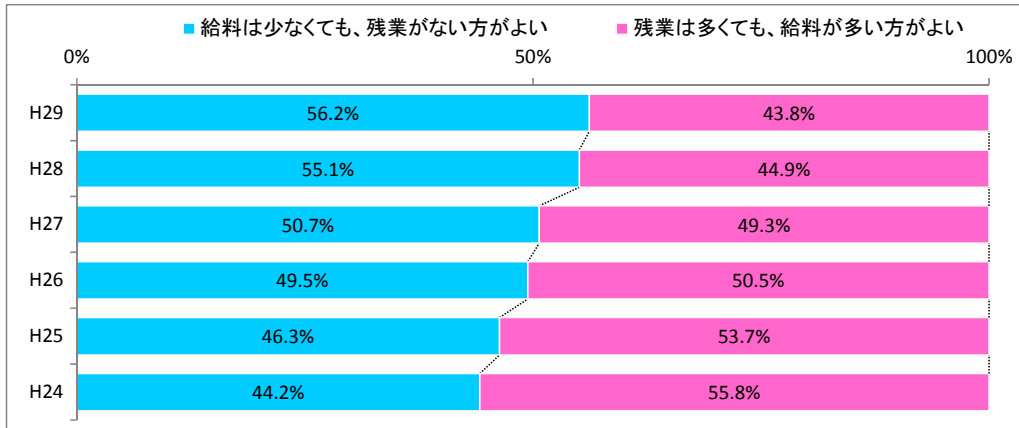


【コメント】

項目ごとに「自信」－「不安」を計算すると、プラス幅が大きいのは「誠実性」の36.5%、「協調性」の28.9%、「忍耐力」の17.2%、一方マイナス幅が大きいのは「計画性」の▲25.9%、「積極性」の▲24.3%、「思考力」の▲14.7%であった。人と合わせるのは得意だが、自分で考えチャレンジするのは苦手との意識がうかがわれる。

10. 給料と残業に対するあなたの考え方はどちらですか（1つ選択）

全体では「給料は少なくとも、残業がない方がよい」が56.2%、「残業は多くても、給料が多い方がよい」が43.8%であった。最終学歴別では「残業は多くても、給料が多い方がよい」との回答が多かったのは高校卒 58.9%のみで、大学院卒、大学卒、短大卒、専門学校卒は「給料は少なくとも、残業がない方がよい」がそれぞれ60.0%、62.0%、68.1%、57.6%であった。「給料は少なくとも、残業がない方がよい」が昨年より1.1ポイント増加し過去最高を更新。

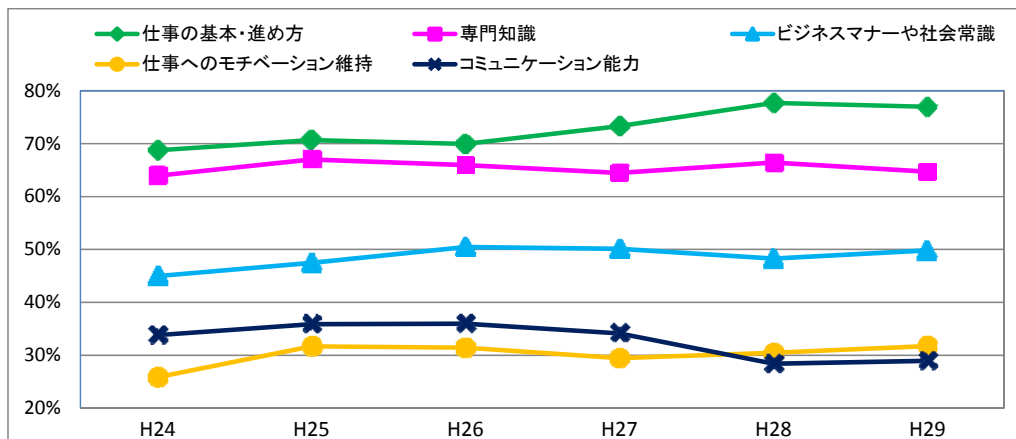


【コメント】

年々「給料は少なくとも、残業がない方がよい」が増加しており、ワーク・ライフ・バランスを重視する傾向が顕著である。

11. 入社後、指導・教育してもらいたいことは何ですか（3つまで選択）

全体では「仕事の基本・進め方」が77.0%で最も多く、次いで「専門知識」の64.7%、「ビジネスマナーや社会常識」の49.8%という結果であった。1位、2位は6年連続で「仕事の基本・進め方」、「専門知識」であった。

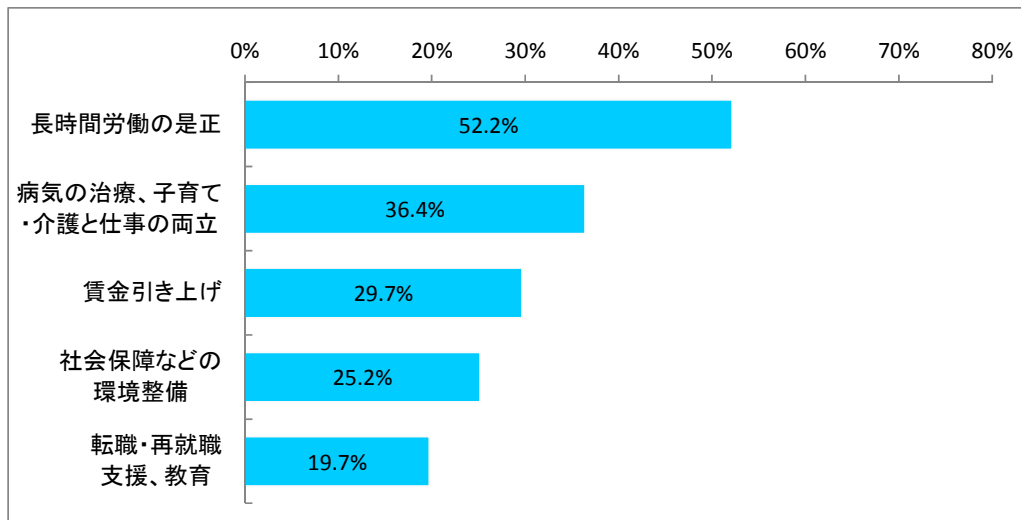


【コメント】

「仕事の基本・進め方」、「専門知識」、「ビジネスマナーや社会常識」が上位を占めており、自分の未熟さを認識し、不安を感じていることがうかがわれる。

12. 働き方改革の中で、あなたが重要と思うテーマはどれですか（2つまで選択）

全体では「長時間労働の是正」が 52.2%で最も多く、次いで「病気の治療、子育て・介護と仕事の両立」の 36.4%、「賃金引き上げ」の 29.7%という結果であった。男女とも「長時間労働の是正」との回答が最も多く、次いで男性は「賃金引き上げ」、女性は「病気の治療、子育て・介護と仕事の両立」という結果であった。



【コメント】

「長時間労働の是正」が男性 52.4%、女性 51.9%でともに最も多かった。次いで男性は「賃金引き上げ」35.1%という結果に対して、女性は「病気の治療、子育て・介護と仕事の両立」49.9%という結果であった。二人に一人の女性が「病気の治療、子育て・介護と仕事の両立」が重要と考えており、会社側の理解や柔軟な対応を求めていることがうかがわれる。

<最後に>

今回のアンケート結果から、新入社員は真面目で我慢強く協調関係を保つことには自信を持っていますが、自ら計画し積極的に行動するのは苦手であることが分かります。苦手意識を反映し、上司に対してはきめ細かな指導や気配りを望んでおり、「指示待ち」の傾向もでているようです。

給料と残業に対する考え方では「給料は少なくても、残業がない方がよい」と答えた人が5年連続で増加しており、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を重視する傾向がますます強まっています。また、会社に求めるものとして「十分な休日や余暇の時間」が増加するなど、仕事より私生活ファーストといった傾向が感じられます。

このような新入社員の傾向は、育ってきた環境や経験に大きな影響を受けていることを理解する必要があります。今年の新入社員は、いわゆる「ゆとり世代」であり、「ほどほどでよい」との意識も見え隠れするように感じました。そのあたりを考慮した指導も必要ではないでしょうか。

政府が推進する「働き方改革」に関し、女性の二人に一人は「病気の治療、子育て・介護と仕事の両立」が重要と考えているとの結果がでました。少子高齢化が進み人手不足が深刻な問題となっていますが、柔軟性のある制度の構築で、人手不足も緩和されるのではないのでしょうか。

最後に、本調査結果が、新入社員の育成の一助となれば幸いです。

—ご利用に際して—

- ◇ 本資料は、アンケートに基づき作成しましたが、当社はその正確性を保証するものではありません。
- ◇ 本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- ◇ 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。
- ◇ 本資料は、著作権法に基づき保護されています。引用する際は、必ず出所：NCB リサーチ&コンサルティングと明記してください。
- ◇ 本資料の全文または一部を転載・複製する際は当社の許諾が必要です。